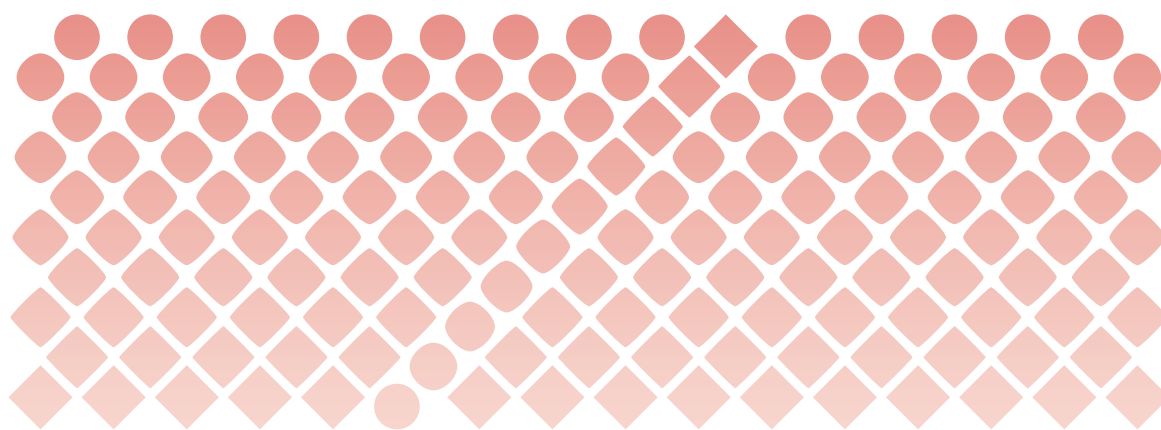


保育科学研究

第14卷 (2024年度)



社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所

発刊にあたって

日本保育協会保育科学研究所の2024年度の研究成果をまとめた「保育科学研究第14巻(2024年度)」を発刊いたします。

2024年度の総合テーマは、「保育所等における子育て支援について」とし、6件の研究と、1件の指定研究を掲載しています。

次の2025年度研究の総合テーマは今年度と同じ、「保育所等における子育て支援について」とし、6件の研究計画が、審査委員会、倫理委員会を経て運営委員会において承認され、研究が開始されます。これらの研究要旨については機関紙『研究所だより』で紹介する予定です。

「学術集会」については、2025年9月6日(土)に第13回をオンラインで開催することとし、準備を進めています。

なお、研究所の発刊物は日本保育協会のホームページ内、「保育科学研究所」からご覧いただけます。

令和6年12月、こども家庭庁は「保育政策の新たな方向性」を公表しました。ここでは、「保育の質の確保・向上」が触れられています。

保育士養成施設の教員だけでなく、保育者も研究者として加わっている保育科学研究所の「保育科学研究」が、その一助となれば幸いです。

今後とも保育科学研究所は、日本の乳幼児保育の向上を願い、保育実践・研究の各分野でご活躍の皆様の参加を得て、保育を科学する研究を充実させていくために努めて参りたいと思います。

引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年3月

日本保育協会保育科学研究所長

五十嵐 隆

目 次

発刊にあたって（五十嵐 隆）

研究論文

保育所の強みを活かした子育て支援におけるムーブメント教育の実践研究 —特別なニーズのある子どもに焦点をあてて—（大橋 さつき）……………	3
保育園の地域に対する子育て支援に関する研究—専門職に着目して— （松田 典子）……………	22
専門職倫理にもとづく子育て支援に関する研究（亀崎 美沙子）……………	35
保育施設における保健計画の作成状況およびその効果に関する研究 （菅原 民枝）……………	75
地域子育て支援拠点事業の利用者の社会的居場所感の変容に関する研究 （岡村 季光）……………	90
食を通した子育て支援に関する研究～地域資源との連携に注目して～ （曾退 友美）……………	128

【指定研究】

こども誰でも通園制度（仮称）の実施に向けた課題に関する研究 （森 俊之）……………	160
--	-----

（資 料）

日本保育協会保育科学研究所細則……………	210
日本保育協会保育科学研究所倫理委員会細則……………	212
日本保育協会保育科学研究所審査委員会細則……………	213
日本保育協会保育科学研究所企画委員会細則……………	214
日本保育協会保育科学研究所運営委員名簿……………	215